

ISO14001シリーズ取得を検討

町内部会議

町は環境管理国際規格ISO（アイ・エス・オー）14001（環境マネジメントシステム）認証取得の可能性について、検討するプロジェクトを立ち上げました。

プロジェクト会議では、現在進めているクリーンめむる大作戦事業の効率的な展開と組織体制や事業を効果的に進める手法を調査研

究しています。

これは、従来から実施している環境問題対策に加え、さらにクリーンな芽室を進めるため、環境マネジメントシステムの導入が町にとって有効適切であるか、そのメリット、適用範囲、内容、体制などについて検討し、その方向性を来年3月までに決めていくものです。



ISO(アイ・エス・オー)14001とは?

国際標準化機構が定めた規格。『環境マネジメントシステム・環境監査に関する国際規格』である。業務の過程に関する国際規格。また、最近ではゴミ・廃棄物問題を抱えている地方自治体は、高い関心を示し、自ら認証取得を行う自治体も増えている。道内では釧路管内厚岸町が今年度中に取得を予定、北海道と帯広市は来年度以降取得を目指している。

12/1

今年は新しくなったJR駅前にサンタが…

クリスマスツリー点灯式

恒例のサンタランドツリーイルミネーション点灯式がJR芽室駅前広場で約250人が集まる中行われました。

芽室幼稚園くま・とら・ライオン組の79人の園児とやまなみ合唱団がふれあいツリー・ミニコンサートを行いました。園児は『ジングル・ベル』を歌い、ミュージックベルで『小さな世界』を演奏。やまなみ合唱団は『さあ、かざりましょう』『きよしこの夜』『もろびとこぞりて』を合唱し、盛り上げました。

斉藤羽奈ちゃん、大熊成



也くん、坂井友子ちゃんとサンタクロースなど6人がツリーに点灯しました。集まった子どもたちはサンタクロースからプレゼントを受け取りました。

ミニそば祭り大盛況

芽室蕎麦研究会

第2回ミニそば祭り（芽室蕎麦研究会主催、村越英男会長）が11月14日午前10時から、めむろーど2階セミナーホールで開催され、町内外から多くのそばファンが訪れました。

同研究所は2年前、そば好きな有志が集まり発足しました。昨年からは祭りを行っています。

使用した北明地区産の無農薬そば粉は会員らが手狩りしたもので、そば打ちコーナーでは11人が挑戦し、700食用意したそばはあつという間になくなる大盛況ぶりでした。



11/23

今年の実に感謝して 第18回めむろ収穫感謝祭

第18回めむろ収穫感謝祭（実行委員会主催）が健康プラザで行われ、町内外から多くの人が訪れました。
収穫感謝祭は町内の農業者が中心となり、その年の収穫に感謝するとともに、イベントを通じ地域住民の交流を図ることを目的として開催。この日は小学生綱引き大会などの催し物が行われ、屋外では低農薬の男しゃくイモなどの農産物がほぼ完売。ビンゴゲームやもちまきなどステージでも盛り上がりました。



熱気に包まれた綱引き大会。
農産物販売（写真左）開会の挨拶をする島本勝信実行委員長。

11/12

租税教育推進校で 税務署長から表彰

『芽室小学校・芽室高校』

租税教育に積極的に取り組んだ学校に贈られる租税教育推進校として芽室小学校（土岐一雄校長、児童608人）と芽室高等学校（流博校長、生徒591人）に、帯広税務署長表彰を受賞しました。

芽室小学校は平成6年から、芽室高等学校は平成7年から、いずれの学校も税務署職員が講師となって学

校で開催する租税教室を毎年開催しています。両校ともに租税教育への取り組みが認められ、今回の表彰となりました。
今回、帯広税務署長表彰を受けたのは、この2校のみで、蔵田隆始帯広税務署長が各学校を訪れ、直接記念の楯が手渡されました。



11/21

収穫バザーや芸能を発表 来年の大豊作も願う

上美生収穫感謝祭

恒例となった上美地区の収穫感謝の集いが農村環境改善センター前で行われました。

午前10時から農産物の販売や焼き鳥、豚汁などのバザーが始まり、ほぼ完売の大盛況。

また、この日センター講堂では午前中、上美生保育所の発表会が、午後からは芸能発表会が行われ、民謡、舞踊、カラオケなど自慢の

芸能を披露し会場は拍手いっばいでにぎわい、一年の収穫を地域全体で祝いました。

